

- 1 日 時 令和4年9月14日(水) 5時限目
- 2 場 所 2年1組教室
- 3 学年・学級 2年1組(男子19名 女子15名 計34名)
- 4 単 元 名 日本の様々な地域 第3章 日本の諸地域 第5節 関東地方
- 5 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元は、日本の様々な地域(3)日本の諸地域の関東地方に位置づけられる。ここでは、空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらいとしている。「人口や都市・村落を中核とした考察」の仕方で身につけたい思考力、判断力、表現力等に関わる事項として、イ(ア)「日本の諸地域において」人口や都市・村落を中核とした考察の仕方で「中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応に着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること」が挙げられる。

(2) 生徒観

次のアンケートは、本単元学習前に実施したものの結果である。

質問内容	肯定的評価の割合
自分の考えを全体や友人にわかりやすく説明できる。	67%
考えを説明する場面では、その理由がわかるように書ける。	74%
グループ学習では、他の人の意見から新しい発見がある。	97%
グループ内で交流した意見を自分なりにまとめることができる。	81%
複数の資料を基に、学習課題について考えたり、説明したりすることができる。	57%

アンケート調査では「グループ学習では、他の人の意見から新しい発見がある。」「グループ内で交流した意見を自分なりにまとめることができる。」の肯定的評価の割合が高いところから、グループ学習の中で他者の意見を聞いたり、取り入れたりすることができる生徒が多いことがわかる。しかし、「自分の考えを全体や友人にわかりやすく説明できる。」の質問項目の肯定的評価は、7割を下回った。また、「考えを説明する場面では、その理由がわかるように書ける。」という質問項目の肯定的評価の割合もあまり高くないところから、自分の考えを文章にして表現したり他者に伝えたりすることが苦手な生徒の多いことがわかる。さらに「複数の資料を基に、学習課題について考えたり、説明したりすることができる。」の質問項目の肯定的評価が特に低いことから、資料から読み取ったことを組み合わせて考えたり、表現することが苦手な生徒が多いことが分かる。

(3) 指導観

関東地方を学習する際、「なぜ関東地方は日本の中心になっているのだろう」という単元を貫く問いを設定し、予想をたてさせた上で学習に取り組ませる。学んだことを活用して単元を貫く問いについてまとめを書く活動を毎時間設定し、自然環境や都市機能、産業といった様々な視点から、生徒が単元を貫く問いについて、多角的に考えられるようにする。

6 単元の目標

- ・関東地方の自然環境や産業について、人口や都市という視点から見た地域的特色を理解し、その知識を身につけている。また、関東地方の自然環境の特色や大都市圏の拡大、工業や農業の分布を、適切に選択した地図や統計資料から読み取り、調べた内容を図表や文章にまとめることができる。(知識・技能)
- ・東京に大都市圏が形成される理由を、首都機能や産業分布から考えるとともに、人口集中によって発生した都市問題の原因を判断し、その対策を文章で表現している。(思考・判断)
- ・関東地方の地域的特色に基づいて設定した学習課題について、主体的に追求しようとしている。(主体的に学びに向かう態度)

7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度
<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方において、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

8 指導と評価の計画 (全6時間) ★=本時で取り扱う単元

次	学習内容 (時数)	評価				
		知	思	態	評価規準	評価方法
1	関東地方の自然環境	◎		○	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方や気候の特色を理解し、その知識を身につけている。また、雨温図や地図から、関東地方の地形や気候の特色を適切に読み取っている。(知識・技能) ・関東地方の地域的特色について設定した学習課題について、主体的に追究しようとしている。(主体的に学びに向かう態度) 	ノート
2	多くの人々が集まる首都、東京	◎		○	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな資料から、首都であり多くの人が集まる東京の特色を読み取って、理解している。(知識・技能) ・首都であり、多くの人が集まる東京の特色に関心を持ち、意欲的に追究している。(主体的に学びに向かう態度) 	ノート
3	拡大する東京大都市圏	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・東京大都市圏が鉄道網に沿って放射状に拡大していることを適切に読み取っている。(知識・技能) ・人口が集中することで発生した都市問題とその解決について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。(思考・判断) 	ノート

4 ★	東京大都市圏の 人口一極集中	○	◎		・東京大都市圏の都市機能をどこに分散させるかについて、既習事項を活用することができる。 (知識・技能) ・東京大都市圏へ人口が集中することを多面的に考察し、課題の解決策を適切に表現している。(思考・判断)	ワーク シート
5	人口の集中が もたらした産業	○	◎		・資料から、人口が集中する地域で第3次産業がさかんであることを適切に読み取っている。(知識・技能) ・人口が集中する地域で第3次産業がさかんになる理由を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。(思考・判断)	ノート
6	臨海部から内陸部 へ移りゆく工業	○	◎		・京浜工業地帯、京葉工業地域、北関東工業地域の特色を理解し、その知識を身につけている。(知識・技能) ・関東地方の工業の発展や移り変わりを人口の変化や市街地の拡大に着目しながら多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。(思考・判断)	ノート
7	大都市周辺の農業 と山間部の過疎問題		○	◎	・山間部で深刻化する過疎問題の改善について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。(思考・判断) ・関東地方の地域的特色について設定した学習課題について、主体的に追究しようとしている。(主体的に学びに向かう態度)	ノート

9 本時の展開

①本時の目標

○東京大都市圏の人口集中が抱える課題を発見し、解決策を考察し、表現できる。

②本時の評価規準

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への手立て (C)
○東京大都市圏への人口一極集中に見られる課題を発見し、都市機能をどこに分散させるかについて、既習事項を活用しながら説明している。	○東京大都市圏への人口一極集中に見られる課題を発見し、都市機能をどこに分散させるかについて、説明している。	○学習課題について、まとめやすくするために、書き方の雛型を用意して提示する。

③準備物

・個人記入用ワークシート ・スライド資料 ・電子黒板 ・日本地図資料

④学習の展開

学習活動	○指導上の留意事項 ◆努力を要する生徒への手立て	☆評価規準・評価方法
<p>導入</p> <p>1 これまでの学習を振り返り、東京大都市圏の人口や東京都が持つ都市機能について確認する。また、前時までに考えた、人口集中がもたらす二つの側面について全体で共有する。</p> <p>2 めあての提示。</p>	<p>○スライド資料を用いて、既習事項について、簡単に振り返らせる。</p> <p>○東京大都市圏の人口一極集中が課題であることをおさえる。</p>	
<p>【めあて】東京大都市圏への人口一極集中問題を解決する策を考え、説明できる。</p>		
<p>展開</p> <p>3 学習課題をつかむ。</p>	<p>○一極集中を解決するためには、都市機能の分散が必要なことをおさえる。</p>	
<p>【学習課題】東京の都市機能を、日本のどこに分散するのが良いのだろうか？</p>		
<p>4 学習課題について個人で考える。根拠も併せて書く。</p> <p>5 個人思考をグループで交流し、5つの都市機能の配置について、日本地図を活用して考える。</p> <p>6 指名されたいくつかグループが電子黒板を用いて発表する。その際、他のグループはメモをとりながら聞く。</p>	<p>○日本地図やこれまでの既習事項を活用して考えるよう指導する。また、考える際に「首都として、東京都に何の機能を残すか」の視点も与える。</p> <p>◆個人の意見をまとめやすくするために、書き方の雛型を用意して提示する。</p>	

<p>まとめ</p> <p>7 学習課題について、他者の意見も踏まえて考えた自分の考えを記入する。 (時間に余裕があれば、発表する)</p>	<p>○机間巡視をしながら、適切なまとめが書けている生徒数人を指名し、発表させる。</p> <p>○ワークシートを回収する。</p>	<p>☆東京大都市圏の人口集中が抱える課題を発見し、解決策を考察し、表現できる。(ワークシート)</p>
--	--	--